

直江地区自治協会だより

事務局:直江コミュニティセンター
TEL:72-5282 Fax:72-5286

直江地区の課題の一つとして、地域で助け合う仕組みとしての自治会を維持することや地域づくりに活動している団体の担い手確保があります。これまで自治協会総会などの場で様々な意見をいただいておりますが、それらを踏まえて、中部教育振興会・体協・消防後援会・親子会と会費や役割負担などについて話し合いをしました。各団体が検討されたことは2月18日(土)開催予定のまちづくり懇談会で示していただく予定です。地域づくりに関わる課題へのアプローチにはいろいろな視点が必要であり、地域の皆様にもわがこととして考えていただきたいと思ひます。そこで、まず地域づくり活動団体について知っていただくために現状をまとめました。(団体寄稿文を掲載)地域で高齢化が進む中で、実情に応じた自治会のこれからの在り方について、地域が、各自治会がそれぞれ考えていく時期だと思ひます。今後共皆様のご協力をお願いします。

凡例 ①趣旨・目的 ②主な活動内容 ③活動財源 ④役員選出方法

直江地区自治協会

- ① 住民のつながりを深め、地域でまちづくりを進める組織です。皆さんに「(地域活動を)知ってもらう(地域活動に)関わってもらう(参加してもらう)」ことを目指して活動を行っています。
- ② ●まちづくり懇談会や文化祭など地域のつながりを深める催しの開催
●自治協会だよりやコミセン Facebook などによる地域情報の発信
●地域課題の解決のために地域各団体や事業所・行政等との意見交換を行う
●災害対策委員会での防災訓練・研修、災害時要支援者避難プランの作成
- ③ 中部教育振興会より助成金として1,040円/一戸
- ④ 自治協会は自治会長・災害対策委員会は防災委員を自治会より選出

中部教育振興会

- ① 直江・久木地区自治協会、中部小学校、中部幼稚園、直江保育所、直江・久木地区体育協会、中部スポーツ少年団及び、直江・久木コミュニティセンター等が密接に連携し、これらの団体が円滑な運営ができるよう支援する。
- ② 各団体の当該年度の活動報告、次年度の活動計画に基づいて適切な助成金を配分する。
- ③ 会費として4,200円/一戸、及び寄附金
- ④ 会長、副会長、監事は直江・久木地区から選任。理事は本会が支援する団体から代表者1名。直江・久木コミュニティセンター長。評議員は自治会長。

民生児童委員協議会 直江支部

- ① 地域において常に住民の立場に立ち、実情を把握する事に努め、身近な相談相手・見守りや子育ての不安や心配事の相談・支援を行い、地域に根ざした活動を民生児童委員9名、主任児童委員1名で行っています。
- ② ●月1回定例会を開き、問題事例の検討・情報交換等実施
●一人暮らしの高齢者宅訪問、「お元気ですか」「ふれあいレター」等を持参し安否確認を実施する
●主任児童委員は赤ちゃん訪問(または電話での聞き取り)
●小学生の登校時の声掛け挨拶運動参加(月1回)
●「民生児童委員の日」活動週間での啓発運動
●その他、地区行事に参加
- ③ 島根県活動交付金より補助金
- ④ コミセン、自治協会などからの推薦

防直江連合会

- ① 地区の都市化の進展、産業並びに消費構造などの社会変化に伴う歪みを未然に防止し、安全で明るい郷土を建設することを目的としています。
- ② 児童生徒の下校時の安全確保や犯罪の未然防止を図るため、地域に防犯灯の設置を推進することなどを主な活動としています。
- ③ 会費として200円/一戸
- ④ 直江・久木自治会代表、直江・久木コミュニティセンター長、直江・久木地域安全推進員、保護司、更生保護女性会、少年補導員、民生児童委員から選出

直江地区青少年育成協議会

- ① 次代を担う子どもたちが、人間性豊かな社会人として成長することはすべての住民の願ひです。「家庭・学校・地域」で連携・協力しながら、子どもたちの見守りと育成活動を行っています。直江地区は住民の約20%が外国にルーツのある方々で多様性のある地域となっています。子どもたちを見守り育てていくための活動に、皆様のご参加ご協力をお願いします。まずは「あいさつ」から始めましょう!「おはよう!こんにちは!こんばんは!」
- ② ● 中部小学校と中部幼稚園での交通安全教室への参加
● 夏休み子ども教室や日帰りキャンプの開催
● 直江青色防犯パトロール隊・直江子ども見守り会による地域パトロール活動
- ③ 出雲市青少年育成市民会議より助成金
- ④ 会長・副会長:総会で選任 常任委員:会長が任命 事務局長:直江コミュニティセンター長

直江町親子会

- ① 直江地区に住む児童と保護者で作られる会です。様々な活動を通して、お子さんと保護者が地域と繋がりを、また、情報交換や交流の場所となることを目指しています。
- ② ● 子供みこし、書画展(夏まつり協賛事業)(7月)
● 七夕行進(8月)
● 防火教室(11月)
● 餅つき大会(12月)
- ③ ● 自治会加入世帯で小学生がいる世帯より会費として1人年間400円
● 夏まつり助成金
● 寄付金・社会福祉協議会 助成金・直江地区青少年育成協議会
- ④ 各町内にて評議員を選出し、会長は町部の評議員より選出、副会長・幹事長・会計は町北・町南の評議員より輪番で選出

直江地区体協協会

- ① スポーツを通じて自治会内の高齢者や若者との親睦をより一層深めることや、他の自治会とのコミュニケーションを図ることを目的とした活動を行っています。
- ② ソフトボール、バレーボールなど年間12の各種大会競技を行います。(地区民体育大会を含む)健康ウォーク、カローリング大会は直江コミセンとの共催です。
- ③ 中部教育振興会より助成金として830円/一戸
- ④ 会長以下役員を体育委員会において選出、体育委員は自治会より1名

直江一式飾り保存会

- ① 直江町の伝統行事である一式飾りの伝承と技術を守るため、会員相互の研修と親睦を図り「活力ある住みよい直江の町づくり」の創造に寄与する。
- ② ● 直江町一式飾りの伝統継承のため、常設館をはじめ直江コミセン、中部小学校、及び行政センターの一式飾りを定期的に更新
● 一式飾りの町内巡回展示
● 中部小学校(4年生)、斐川西中学校(1年生)、斐川東中学校(3年生)に一式飾り制作指導、講義
● 「家族と一緒に一式飾り」での未就学児の一式飾り体験
- ③ 無形民俗文化財伝統継承を後押しする各団体からの助成金
- ④ 趣旨に賛同する直江町住民を随時募集し必要に応じて互選にて選出

☆出雲村田製作所の協力事業所との意見交換

直江地区は、外国人住民が人口の約20%をしめる市内でも外国人住民が多い地域です。そこで、外国人住民の現状や交流の進め方などについて、協力事業所の一つであるアバンセコーポレーションと意見交換を行いました。そして、今後、地域情報の提供や災害時の情報伝達を連携して行うことになり、また、住民交流についても助言をいただきました。交流は、イベントだけでなく出会った時の挨拶や声掛けが大切だと改めて感じました。なお、出雲村田製作所・協力事業所には、現在、中部小学校・斐川西中学校に各1名通訳を派遣してもらっています。これまででも学校教育に支援をいただいております。子どもたちの学習や学校生活の充実につながっています。事業所とは今後も必要に応じて協議を行うことにしています。

コミュニティセンター報

なおよえ

な かまを う えんする がおのまちづくり!

いっしょに進もう! みんなでまちづくり!

発行/直江コミュニティセンター TEL:72-5282 FAX:72-5286
E-mail:naoe-cc@local.city.izumo.shimane.jp

直江地区の世帯と人口
令和4年12月31日現在
世帯数.....1,591
人口.....3,872
(男性).....1,939
(女性).....1,933

直江コミセン 検索



年頭にあたって

直江コミュニティセンター運営委員会 会長 新宮 和男

新年あけましておめでとうございます。

直江地区の皆様にはお元気で、新しい年をお迎えの事と心からお慶び申し上げます。平成25年から旧公民館からコミュニティセンターへ組織替えになってから早10年を経過しました。その間の動態をグラフ化しました。10年間で地区人口約500人、世帯数400世帯増加してきており、ブラジル等から来られた方との共生が重要になってきております。来館者数については、令和元年度はコミセン工事、2年度から4年度まではコロナ禍の影響を除外してみますと、約1万5千人から1万8千人の範囲で変動しております。地区民一人当たりの来館回数はおおむね年4、5回程度です。この評価は、現時点では皆様方に委ねたいと思ひます。



コロナ禍も丸3年となりました。そういう中、少しずつ事業の実施数や参加者数も回復してきております。これもひとえに地区の方々、関係団体の方々のご理解とご協力によるものと考えております。皆様には一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

新年賀会 1月7日(日)

直江コミュニティセンター協力団体の方達にご出席いただき、直江地区新年賀会を開催しました。最初に自治協会の石原順会長の挨拶があり、続いて斐川行政センターの遠藤邦博所長に乾杯の音頭をとっていただき、新春の祝宴が始まりました。コロナ禍でもあり小規模での開催でしたが、皆さん3年ぶりの新年賀会での交流を楽しめました。終わりに、コミセン運営委員会の新宮和男会長の一本締めで盛会の内にお開きとなりました。



11月13日(日)

直江地区 カローリング大会

場所: 中部小学校体育館
主催: 自主企画事業 スポーツクリエイション部・直江地区体育協会
協力: 健康づくりの会・まちの保健室さん、ひかわ医療生活協同組合

中部小学校体育館で、3年ぶりのカローリング大会が開催されました。未だコロナ禍がありますが、規制も緩和され集まりやすくなった中で、8チームの参加があり久しぶりのゲームがスタートしました。また、健康づくりの会さん、まちの保健室さん、ひかわ医療生活協同組合さんのご協力のもと健康フェアも同時開催し、試合の待ち時間に骨密度や血管年齢、体組成計などの測定器で健康チェックをしたりと大会を楽しめました。

成績
優勝: 堀切
準優勝: 新市
3位: つつじヶ丘



11月26日(木)

高齢者交通安全教室

場所: 直江コミセン 出雲市交通安全協会 直江久木支部
主催: 自主企画事業 高齢者・子ども支援部

出雲警察署交通安全アドバイザー森脇一見さんより、交通事故の起きやすい要因や現状などの報告、標識や表示など再確認してほしいと注意があり、イラストを使用した認知機能テスト、斐川交番所長山根一さんによる、4色の点滅ライトを使用したの反射年齢テストがあり、能力確認の出来る良い機会になりました。

また、島根ダイハツさんの協力により、ブレーキを踏んでいないのにブレーキが掛かり自動で止まる、衝突回避支援ブレーキ機能、アクセルを踏んでいるのにブレーキが掛かり進まないように踏ん張る、誤発進抑制制御機能の2種類の安全機能を体験したりと、良い勉強会になりました。



12月7日(水)

中部小学校4年生 直江一式飾り作成

直江一式飾り保存会の方々のご指導のもと、中部小学校4年生のみんなで直江一式飾りを作成しました。作品の為の食器選びから、組み立て方まで丁寧に教えてもらい、四苦八苦しながらみんな上手に作り上げていきました。



12月20日(火)

健康講演会 減塩講座

主催: 健康づくりの会
共催: 直江地区社会福祉協議会

管理栄養士として活躍の長岡良子さんをお招きして、減塩講座を開催しました。塩分の取りすぎによる高血圧だけでなく、腎不全、骨粗しょう症や胃がんなどからだへの影響についてお話がありました。このようなリスクを軽減するために食べ方の工夫、また減塩の方法や塩分の排出に適した食材など、クイズを交えて説明していただきました。質問したり塩分測定をしたりと健康づくりの役に立つ会となりました。今回使用した塩分測定器は直江コミセンにも置いてありますので、使用してみたい方は直江コミセンへお問い合わせください。



12月21日(水)

ふれあいサロン

3年ぶりのクリスマス会を開催しました。クリスマスソングを歌い、輪投げやラダーゲッター、パッゴなどのニュースポーツを楽しみました。またサンタさんからプレゼントをいただき、笑い声のある賑やかな会になりました。



民生児童委員・主任児童委員のご紹介

子育てから介護など地域課題の相談相手、また専門機関へのつなぎ役をしてください。毎日の生活でのお困り事や、お悩みがあれば民生児童委員・主任児童委員さんへご相談ください。

●民生児童委員(任期2022年12月1日~2025年11月30日) ※太文字は新任

お名前	自治会名	担当自治会
留任 水 義 康	漆治菅沢	漆治菅沢・中筋小原・御幸通
留任 江 角 二 郎	新 町	共栄町・新町・相生町
新任 上代 敏 雄	万 才 町	西本町・本町・中町・万才町・西南町・東南町
留任 原 な な え	西 旭 町	東本町・西旭町・東旭町
留任 原 裕 二	新 市	新市・新川中央団地
新任 松村 恵 子	新 川	新川・グリーンパークなおえ
新任 黒田 慶 晴	堀 切	堀切・結西・結・三井・新建
留任 荒川 文 雄	つつじヶ丘2	つつじヶ丘1・2
新任 齋藤 奈美子	境 町	境町・明石・直江杉沢1・2・神奈美

●主任児童委員 ※太文字は新任

お名前	自治会名	担当自治会
新任 稲田 律子	堀 切	直江地区全域

今回退任の皆様、長い間大変お世話になりました。

日展 入選

10月27日(木)

この度、原邦子さまが第9回日展・日本画の部で初入選されました。



おめでとうございます。

表彰

11月21日(土)

青少年育成者等 功労表彰

この度、山根英樹さまが長年にわたり青少年育成に尽力された功績を、出雲市青少年育成市民会議より表彰されました。

おめでとうございます。



日展コラム

一度は日展に出品してみたいと思うようになったのは75歳になってからです。いつまで描けるだろうか? 家族の状況、自身の体力と気力を本気で考えると今しかない! 想いはつり、技量を顧みず初めての最後と挑戦し、斐伊川河口の筆を描きました。若いときとちがって、制作に2年かかりましたが今回初めて日展に出品することができて夢がひとつ叶いました。入選は望外のよかったです。導いてくださいました先生と支えてくれた仲間、友人、協力してくれた家族に感謝しております。原 邦子

TOPICS

ふるさと直江の 地形 地質 景観 Vol.9

前回(8)では、仏経山は新生代第三紀中新世に日本海が形成された時代(約1500万年前)の海底火山跡で、山地を構成するのは「流紋岩の溶岩」であると述べ、登山道中腹や登山口駐車場付近の流紋岩を示しました。

今回は、仏経山の東・中・西の峰の山頂における岩盤露頭や三角点について述べます。

まず結地区の奥から登山して最初に到達する「東の峰」(写真下左:北側眺望良好)の頂上直下には、下の右写真のような流紋岩溶岩の岩盤の一部が露頭しており、有志の方が岩盤に「大國主の岩」と命名しておられます。



このように、「東の峰」、「中の峰」は眺望も良好で流紋岩の岩盤も見られるのですが、それらからやや離れた「西の峰」は、三角点のある仏経山の山頂ではありませんが、下の写真のよう

東の峰から比較的近い「中の峰」頂上にも、下の写真に示すようなゴロゴロした岩が見られます。この岩の塊も流紋岩で、右下写真の岩は、「鏡岩」と命名されています。



に、雑木林の中で眺望がきかず、岩盤も露出していません。標高は三つの峰で最も高いのですが、岩盤の風化や変質が、進行しているかもしれません。「東の峰」、「中の峰」に露出する岩盤は非常に硬く、前回(8)で示した岩石サンプルは「中の峰」で採取したものです。仏経山の流紋岩のように非常に粘性の高い溶岩が固まって、釣鐘やお椀を伏せた形状になった火山を溶岩ドームと呼び、近隣では出雲・石見国境の「三瓶山」が代表的です。また、30数年前に噴火し大災害を引き起こした雲仙普賢岳の溶岩ドームも、皆様の記憶に残っていることでしょう。

角田彰 (東本町)

お礼

年末大掃除をしていただきました。

12/10(土)直江地区体育協会の皆様へ外回りを中心に、また12/22(木)にはコミセンを利用し活動されている皆様に館内を中心に大掃除していただきました。多くの方に協力いただいたおかげで綺麗なコミセンで新年を迎えることができました。ありがとうございました。



お願い

コミセンでは、行事やイベントの際に写真撮影をし、コミュニティセンター報やホームページに掲載しています。ご理解ご協力をお願いします。

ご寄付のお礼

直江地区自治協会へご寄付をいただきました。(香典返し 金一封)(届出願)
・松山 昭子様(陽 一様/令和4年10月)中筋小原
・平井 雅様(勳 様/令和4年10月)結
・青木 幸正様(由 子様/令和4年11月)西旭町
()内は故人
ありがとうございました。
直江地区自治協会を通じて、社会福祉団体等へ配分し、有効に活用させていただきます。

寄付金(香典返し)の活用について

直江地区の皆様からいただいた寄付金(香典返し)は、寄付制度に基づき、社会福祉事業や地域貢献活動を行っている団体などに分配し、有効に活用していただいています。来年度の助成を希望される団体は、交付申請書にて、**3月9日(木)**までに直江コミュニティセンターへお申し込みください。詳しい内容は直江コミュニティセンターにお問い合わせください。